

平成20年12月12日

横浜市教育委員会

教育長 田村 幸久 様

「下瀬谷小・日向山小」小規模校再編検討委員会

委員長 網代 宗四郎

## 下瀬谷小学校・日向山小学校の小規模校の再編に関する意見書

はじめに

当検討委員会は、横浜市教育委員会が策定した「横浜市立小・中学校の規模及び配置の適正化並びに通学区域制度の見直しに関する基本方針」に基づき、下瀬谷小学校・日向山小学校の小規模校の再編について検討するため、本年3月に設置されました。

平成20年3月25日に検討委員会準備会を立ち上げ、4月以降7回にわたり小規模校再編に係る諸課題を検討し、これを取りまとめましたので、次により意見を申し述べます。

### 1 小規模校の再編計画案

#### (1) 再編に当たっての考え方

児童の教育環境の維持・向上と効果的かつ効率的な学校経営を行うため、小規模校化している日向山小学校と今後小規模校化が見込まれる下瀬谷小学校の2校を再編統合すべきと考えます。

#### (2) 再編の実施方法

ア 統合後に使用する学校施設は、現在の下瀬谷小学校が適当と考えます。

イ 再編統合の時期は、統合に向けての十分な準備期間を確保する観点から、平成22年4月が適当と考えます。

ウ 再編統合により、新たにスタートする学校にふさわしい教育環境を確保する観点からも、必要な施設整備について最大限の努力をお願いします。

### 2 通学区域変更案

#### (1) 小学校の通学区域

現在の下瀬谷小学校、日向山小学校の通学区域を合わせた学区とします。

#### (2) 中学校の通学区域

現在指定されている下瀬谷中学校及び南瀬谷中学校について、統合後においても現状のままとすることが望ましいと考えます。

ただし、今後、保護者や地域から通学区域について変更等の要望がある場合は、教育委員会として特段の配慮をお願いします。

### 3 統合校の学校名

統合校の名称は、「瀬谷さくら小学校」とすることが適当と考えます。

### 4 通学安全要望

昨今の社会情勢から、防犯・不審者対策等、多面的な視点で児童生徒の通学安全を確保する必要があると考えます。

具体的には、今後、両校の学校関係者、保護者、地域が中心となって、

- 通学路及び通学区域の危険箇所の点検
- 通学路案の検討・設定
- 通学路の安全マップの作成
- 通学安全パトロールの強化
- 学援隊の拡充

などに取り組んでいきます。

なお、小規模校の再編統合という事情も考慮し、必要な改善及び支援については、教育委員会並びに関係区役所、関係機関は最大限の努力をお願いします。

### 5 その他小規模校再編に当たっての要望

- (1) 統合までの期間においては、両校で「新しい学校を創造する」という考え方に基づき、交流事業や統合校の教育目標の設定等を進めていただき、統合校への円滑な移行を促進するようお願いします。
- (2) 統合校の円滑な運営を図るとともに環境変化に児童が順応できるよう、統合校の教職員は、できるだけ両校の教職員を配置するよう配慮をお願いします。
- (3) 新たな「瀬谷さくら小学校」には、これまで2校が築いた歴史を尊重し、できる限り関係資料等の保存・記録をお願いします。

### 6 新校の特色づくりについて

両校の教育関係者は、地域の期待やニーズも踏まえて、教育内容の充実に取り組むとともに、教育委員会も必要な支援を行うよう配慮をお願いします。

また、本検討委員会としては、

#### (1) 自分を大切にできる子、他を思いやれる子の育成

- ① コミュニケーション能力の育成
- ② 基礎基本の定着
- ③ 情報教育の推進
- ④ 健やかな体づくり

(2) 学校、家庭、地域が共に児童の成長を見つめ育てていく学校運営などを取り入れた新校にふさわしい特色ある学校づくりをお願いします。

### むすびに

横浜市は「『まち』とともに歩む学校づくり」をすすめています。下瀬谷・日向山地区においても、両校の統合を契機に、保護者や地域住民による見守り活動や様々な学習活動への参画など、学校との連携・協力体制をより一層推進していきたいと考えています。

横浜市においても、地域住民との協働を推進し、当地区がより良いまちとなるよう各種事業を推進されるよう要望します。